

「県営西宮老松住宅建築工事」

令和4年5月11日協議終了

行為の概要

申出者	住所 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 氏名 兵庫県知事 齋藤 元彦
設計者	住所 尼崎市東園田町4丁目148番地の24 氏名 有限会社アルファ建築設計 担当者：長谷 俊秀
行為の場所	西宮市老松町189番の一部
敷地面積	3,888.89 m ²
施設用途	共同住宅
建物規模	RC造 建築面積 1,257.00 m ² 延床面積 4,999.32 m ² 高さ 約18.8 m
備考	

※この資料に記載の内容は、令和4年5月11日時点のものであり、その後変更となる可能性があります。

計画策定段階協議での助言概要と回答について
(県営西宮老松住宅建築工事)

助言	回答
<p>【植栽計画について】</p> <p>(1) 公園の植栽と、災害トイレの南北それぞれに位置する植栽帯はできるだけ一体的な景観が広がるような計画とし、災害トイレまわりのスペースも植栽を検討してほしい。</p> <p>(2) 敷地の南側については、低木よりも中高木を列植することにより、通りに豊かな緑を提供するとともに、建物壁面の分節を図ってほしい。(この面(通り)から見る建物が壁面後退距離の短さや足元の擁壁高さとも相まって、一層長大に見えて周辺に圧迫感を与える可能性があるため)</p> <p>【立面・色彩計画について】</p> <p>(3) 下層部の低明度色を、上層部のバルコニーなど線状に部分的に塗装すると、より効果的な分節が図れるのではないかと。また、南側立面でのバルコニー部のような、ガラス等を用いた意匠の切り替えが、北面にもあれば良い。</p> <p>(4) 塔状に伸びる階段部は一定の分節効果があり、アクセントになる部分としての色調を検討してほしい。</p> <p>【外構計画について】</p> <p>(5) A棟の近くに位置しているプレイロットを、もう少し集会所の近くに配置すると、利用者の空間としてより効果的だと思う。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>(1) 災害トイレにテントを設けるので、その周囲に景観配慮すべく、植栽計画検討します。</p> <p>(2) 南道路に電線が設けられてますので、安全性を考慮しつつ、なるべく複数の樹種を植え、表情豊かな緑空間の形成を図ります。</p> <p>また、バルコニーが南に向いており、防犯性にも配慮しながら樹木の高さを選定し、植栽計画検討します。</p> <p>(3) 線状塗装等で、意匠の切り替えを検討します。</p> <p>(4) 効果的なアクセントをつけるべく色調を検討します。</p> <p>(5) 住戸採光確保の為にスペースを活用してプレイロットを配置しております。集会所の玄関をプレイロットに近づける等アプローチ計画検討します。</p>

景観配慮方針及びその方策

方針：周辺環境に配慮した外観
方策：外観の色彩は周辺の色彩と調和させるとともに、緑が映える落ち着いたものとする。
 (低層部：7.5YR/5/2、中高層部：10YR/8/2)
 (参考 既存：2.5Y/8/2)
 バルコニー部、線状塗装等で、意匠の切り替えを検討する。
 又、塔状に伸びる階段部は一定の分節効果があり、効果的なアクセントをつけるべく色調を検討する。

方針：建築物の圧迫感の低減
方策：可能な限り壁面後退させることで、周辺への建築物による圧迫感を低減させる。

方針：周辺環境に配慮した配置計画
方策：歩道や緑地帯を効果的に織り交ぜることで駐輪場のボリュームを分散させ、通りに対して煩雑な印象を与えないよう配慮した計画とする。

方針：周辺環境に配慮した緑地計画
方策：災害トイレの周囲は、公園と一体的な緑地を形成し、まちなかに潤いのある豊かな緑の提供を検討する。

方針：駐車スペースへの環境配慮
方策：駐車場にグラスパーキング(芝生化駐車場)を採用し無機質な環境とならないよう配慮する

◇内部◇
方針：屋外環境に配慮した配置計画
方策：住戸採光確保の為にスペースを活用してプレイロットを配置。集会所の玄関をプレイロットに近づける等アプローチ検討する。

方針：緑豊かな沿道景観の形成
方策：可能な限り壁面後退させ、緑地幅の確保を行うことで通り沿いに潤いのある緑地帯を形成し、建築物による周辺への圧迫感にも配慮する。南道路に電線が設けられており、安全性を考慮しつつ、なるべく複数の樹種を植え、表情豊かな緑空間の形成を図る。また、バルコニーが南に向いており、防犯性にも配慮しながら樹木の高さを選定し、植栽計画検討する。

◇内部◇
方針：住環境への配慮
方策：可能な限り隣棟間隔を取り、日照を確保できるように配慮する。

